

様式第5-1（日本工業規格A列4番）

資料4

海地公第 号
平成26年4月 日

国土交通大臣 殿

岐阜県海津市海津町高須515
海津市地域交通会議
会 長 後 藤 昌 司 印

平成26年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金
（地域公共交通調査事業）交付申請書

平成26年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業）金6,000,000円を交付されるよう、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号）第5条の規定に基づき、別紙関係書類を添えて申請します。

平成26年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金
(地域公共交通調査事業) 交付申請事業

補助対象事業者名 海津市地域公共交通会議 (単位:円)

補助対象事業の 名称及び内容	補助対象事業の着手 及び完了予定日	補助対象経費	補助金額
海津市公共交通計 画策定調査業務 ・ 養老鉄道利用者 実態調査 ・ 海津市地域公共 交通に係る総合的 な計画のとりまと め ・ 海津市生活交通 ネットワーク計画 のとりまとめ ・ 海津市地域協働 推進事業計画のと りまとめ ・ 実施する事業の 検討 ・ 地域別意見交換 会の開催 ・ 海津市地域公共 交通会議の開催	着手予定日： 交付決定日以降 完了予定日： 平成27年3月31日	6,000,000	6,000,000

(添付書類)

- (1) 地域公共交通調査事業の実施に関する計画
- (2) 補助対象経費に係る見積書
- (3) その他補助金の交付に関して参考となる書類

地域公共交通調査事業の実施に関する計画

1. 当該地域の公共交通の概況・問題点

海津市は岐阜県南西部に位置し、県庁所在地である岐阜市、愛知県の政令指定都市である名古屋市と30キロ圏内で、三重県桑名市に接する東海三県の結節点に位置し、市の中央部を流れる揖斐川以東は平地が広がり、以西は養老山地とその裾野に広がる扇状地・平地となっている。

当市は、平成17年に海津郡3町（海津町、南濃町、平田町）が合併し、市域112.31k㎡、人口38,000人（平成25年3月末現在）である。

当市の公共交通機関は、市内に5つの駅を持つ養老鉄道が市の西部を南北に縦断し、路線バスの2路線とコミュニティバスが交通空白区域を運行している。

市が運行するコミュニティバスの基本的な路線、運行ダイヤ等は、合併前に各町で運行されていた路線形態のまま運行し、その後、若干の見直しを図りながら現在は8路線で運行している。利用者が少ない路線や便、バス停が存在し、また、バスの乗り継ぎや養老鉄道とのダイヤの調整が図られておらず、平成22年度に実施した市民アンケートでは、「公共交通機関の便利さ」について「不満」及び「どちらかと言えば不満」と回答した市民の割合が約6割となっている。

当市が、公共交通に負担する年間経費は、約134,970千円（路線バス補助5,560千円、養老鉄道補助52,930千円、コミュニティバス運行費76,480千円）に及んでおり、財政負担の軽減を図る意味からも、全市における総合的かつ効率的な生活公共交通体系の構築が喫緊の課題となっている。

2. 地域の公共交通の確保維持改善に係る計画の策定調査の必要性

公共交通に関する基本方針と目標を定める「海津市地域公共交通に係る総合的な計画」及び、コミュニティバスのルート、運行方式等を定める「海津市生活交通ネットワーク計画」を策定する。また、コミュニティバスの再編に際し、平成27年度からの地域公共交通確保維持事業（フィーダー系統）を活用することを見据え、市内の一部にデマンドバスの導入を視野に入れながら交通体系を見直す。さらに、公共交通体系の見直しに合わせ、地域ぐるみによる利用促進や公共交通サービスの情報提供等の取組みに関する「海津市地域協働推進事業計画」を策定する。

計画策定のためには、公共交通の現状を把握し、交通体系の見直しに際しての、市民ニーズを把握することが必要である。平成25年度には、市単独事業で市民アンケート調査、コミュニティバスと路線バスの利用者実態調査及び住民意見交換会を実施したが、市全体の公共交通の現状を把握するためには、養老鉄道利用者の実態調査を行うことも重要である。また、新たな交通体系の導入に際しての住民意見交換会を開催し、市民のニーズを計画に反映することが必要である。今回策定する計画では、コミュニティバス全体の再編を目指していることから、ルートの選定等についても調査することが必要となっている。

3. 調査の内容	
調査の名称	調査の内容
1. 養老鉄道利用者実態調査	<p>養老鉄道の利用実態、駅までのアクセス方法及び改善意向等を把握するため、利用者を対象としたアンケート調査を実施し、必要な分析を行う。</p> <p>調査は平日・休日の2日間、市内5駅において終日行う。</p>
2. 海津市地域公共交通に係る総合的な計画のとりまとめ	<p>市民ニーズ・課題の整理を踏まえ、本市の公共交通の基本方針と目標、ネットワークの全体像、サービス水準の目標、実施する事業及び実施主体、及び進行管理の方法（PDCA）の計画を検討する。</p>
3. 海津市生活交通ネットワーク計画のとりまとめ	<p>市民ニーズ・課題の整理を踏まえ、コミュニティバスの具体的な運行計画（ルート・運行方法・運行ダイヤ・等）の計画を検討する。</p>
4. 海津市地域協働推進事業計画のとりまとめ	<p>海津市地域公共交通に係る総合的な計画、海津市生活交通ネットワーク計画に基づいて実施する地域協働推進事業について、地域ぐるみによる利用促進、公共交通サービスの情報提供等の取組みに関する計画を検討する。</p>
5. 実施する事業の検討	<p>海津市地域公共交通に係る総合的な計画に基づいて実施する事業の内容、実施主体、実施スケジュールを検討し、関係者との協議・調整を行う。</p>
6. 地域別意見交換会の開催	<p>新たな交通体系の導入に際しての住民意見交換会を、市内10地区（小学校区単位）で開催し、意見等を取りまとめる。</p>
7. 海津市地域公共交通会議の開催	<p>計画策定に向けた調査内容や、調査結果を受けて今後の交通体系のあり方を議論するための海津市地域公共交通会議を開催する。</p>

4. スケジュール				
以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印（←→）、または横棒線（——）で記載。				
調査の名称	4月	9月	12月	3月
1. 養老鉄道利用者実態調査	←→			
2. 海津市地域公共交通に係る総合的な計画のとりまとめ	←——→			
3. 海津市生活交通ネットワーク計画のとりまとめ	←——→			
4. 海津市地域協働推進事業計画のとりまとめ	←——→			
5. 実施する事業の検討	←——→			
6. 地域別意見交換会の開催	←→			
7. 海津市地域公共交通会議の開催	↔	↔	↔	↔

5. 予算計画			
調査の名称	総事業費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
1. 養老鉄道利用者実態調査	1,045 千円	1,045 千円	0 千円
2. 海津市地域公共交通に係る総合的な計画のとりまとめ	900 千円	900 千円	0 千円
3. 海津市生活交通ネットワーク計画のとりまとめ	1,514 千円	1,514 千円	0 千円
4. 海津市地域協働推進事業計画のとりまとめ	460 千円	460 千円	0 千円
5. 実施する事業の検討	477 千円	477 千円	0 千円
6. 地域別意見交換会の開催	773 千円	773 千円	0 千円
7. 海津市地域公共交通会議の開催等事務費	831 千円	831 千円	0 千円
小計	6,000 千円	6,000 千円	0 千円